



長野県立大学
後援会

会報

2019.8

Vol.2



CONTENTS

表紙

球技大会

1

再任のご挨拶 後援会 会長

令和元年度 役員紹介

保護者の皆様へ 公立大学法人長野県立大学 学長

2

学部長紹介 グローバルマネジメント学部 学部長

健康発達学部 学部長

3

Campus Topics

●球技大会

●ながの祇園祭

●部屋探し相談会

●英語でクッキング！-Pizza編-

4

●学科別学びの場

●海外プログラム報告

●インターンシップ報告

6

【特集】ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）紹介

●ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）とは

●学生がCSIとともに取り組んだ一例～エシカル消費～

●これまでのCSIの主な取組一覧

7

保護者の皆様からのご質問にお答えします

8

令和元年度長野県立大学後援会総会

●令和元年度後援会総会 報告

健康発達学部 加藤孝士准教授

「この一年を振り返って～長野県立大学学生調査の結果から～」

9

●平成30年度事業報告・収支決算書

●令和元年度事業計画・収支予算書

裏表紙

寄付金のお願い

Information

再任のご挨拶

毎日猛暑が続きますが、会員の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。

日頃は、長野県立大学後援会にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本後援会も昨年7月の設立後2年目を迎え、引き続き、大学の発展と学生の福利厚生に寄与するといった目的を達するため、必要な事業を行っていきたいと考えています。

設立初年度となる昨年度は、学園祭・スポーツ大会・サークル活動等に支援してまいりました。なかでも学園祭は1年生だけでもかかわらず盛大に行われました。機会がございましたら、是非10月の学園祭にご参加いただき、本学と本後援会の現状を肌で感じていただければと思います。

また、先日開催いたしました後援会総会には、県外から出席いただいた皆様も含め、多くの皆様にご出席いただき、貴重なご意見をいただきました。今後とも学生の皆様が安全で、安心した充実した学生生活が送れるよう、後援会としてご支援してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。

長野県立大学後援会 会長 町田 敬

令和元年度 役員紹介

会 長	町田 敬	(G M2年)
副会長	熊崎 達也	(G M1年)
理 事	長田 明子	(G M2年)
〃	宮尾 千春	(G M1年)
監 事	浦野 加代	(食健康2年)
〃	吉澤 敏雄	(こども2年)



保護者の皆様へ

新入生の保護者の皆様、新しく実績もなく、知名度もない大学を信じて素晴らしい学生を送り込んでくださり感謝申し上げます。1年生は全寮制で共同生活する中で人間力を磨き、自立心が生まれ、協調性とコミュニケーション力も身につけることができます。今年の一部の先輩が寮に残り、上級生の立場で1年生をフォローしており、昨年以上に良い環境で生活しております。

一方、2年生は海外プログラムで懸命に自分の将来の研究に即した勉強をしています。単なる英会話のためだけではありません。

このように本学は県立大学としてはかなり挑戦的な新しい教育をしております。海外研修に全員を行かせるカリキュラムは 800 近い日本の大学で、他にはほとんどないことです。短期で濃密なスケジュールで充実した海外生活を送り、専門ゼミできちんと専門分野を学ぶことによって、今のグローバルな時代、先の見えない新たな時代を切り抜ける人材になっていくことでしょう。

これから、教職員と学生たちと後援会の皆様の三者が一体となって、この大学をさらに素晴らしい大学にしていきたいと思っております。ご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

公立大学法人長野県立大学 学長 金田一 真澄

長野県立大学後援会会員の皆さまへ

グローバルマネジメント学部 学部長

森本 博行

日本の産業社会は、少子高齢化、人口減少の時代を迎え、国内市場が縮小することで、国内市場にこれまで依存してきた内需型産業は、どうしてもグローバル市場への進出を意識しなければならない状況にあります。従来のグローバルに活動を展開する商社や製造業などの企業に加えて、グローバル人材への要請はこれまでになく高まっています。

長野県立大学は、グローバル人材の要請に応える目的で創立されました。グローバル人材の必要な要件は、第一にコミュニケーション能力であり、第二に異文化社会と触れあうことのできる積極的な協調性や協働の意欲、第三に論理的な表現力です。本学では、そのため英語集中授業と海外体験、全寮制の実現、アクティブ・ラーニングを採用した教育プログラムを実践しています。

私は、実務家教員として本学の創立に参加しましたが、ソニーでは英国等に駐在し、イノベーション戦略オフィス VP から東京都立大学を経て、長野県立大学に奉職することになりました。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。



健康発達学部 学部長

笠原 賀子

長野県立大学後援会の皆様、日頃より本学の様々な活動に対し、多大のご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。開学以来、学生、教員ともに、一丸となって歩んできた1年半でした。

ご存知の通り、健康発達学部には、食健康学科とこども学科の2つの学科があります。それぞれ、グローバルな視野をもち、リーダーとして活躍する管理栄養士、保育士・幼稚園教諭を育成しています。

ところで、皆様は、管理栄養士は献立を立てて、給食を作る人と思っていらっしゃるのではないのでしょうか。それは、ずいぶん前の栄養士像です。栄養100年。食健康学科では、エビデンスに基づき、食を通じて人々の健康を支える管理栄養士。正しい科学の認識のもと、他者と豊かなコミュニケーションを構築する資質、つまり、Science&Artを兼ね備えた新しい管理栄養士をめざしています。

一方、こども学科では、自然保育を始め、こどものより良い発達環境にも目を向け、こどもを主人公とした保育を実践できる保育者をめざしています。

これらのことを実現するために、本学では、1年次全寮制や2年次海外プログラムに取り組んでいます。次代を担う学生たちが、自身の潜在的な可能性を爆発させ、自分なりのめざす道を切り開いていけるよう、後援会の皆様のご理解・ご支援を賜りたく、今後とも、宜しくお願い申し上げます。



Campus Topics

球技大会 (6/9、7/30)

6月9日(日)に三輪キャンパスアリーナで、象山寮の交流プログラムの一環で、球技大会を開催しました。

当日は、6チームに分かれて、バレーボール、バスケットボール、ドッジボールの各種目を行いました。

また、7月30日(火)に第2回球技大会を三輪キャンパスアリーナで開催し、5チームに分かれ、フットサルやバスケットボール等の競技を行いました。(写真は本誌表紙)

当日は六鈴会(同窓会)からも飲料等の差し入れをいただきました。

(以下は「ながの祇園祭」の写真)



部屋探し相談会(7/10)

7月10日(水)三輪キャンパスショールームで、長野市を拠点にしている不動産業者6社が集まり、来年度寮を出る予定の1年生向けに、部屋探し相談会を開催しました。

部屋探しの方法を聞いたり、希望する者は、継続的な情報提供のため、連絡先の交換等を行いました。



ながの祇園祭 (7/14)

長野市の善光寺近くにある弥栄(やさか)神社の御祭礼の一つで、豪華な屋台(山車)が巡行する「ながの祇園祭」が7月14日(日)、市中心市街地でありました。

今年は、象山寮の地元の間御所地区から巡行を活気あるものにしたとの意向で、学生参加の依頼があり、県立大生約50名が参加し、笛や太鼓、三味線の音色が響く中、市街地をにぎやかに練り歩きました。

また、祇園祭前日の宵山や準備作業にも、20名ほどの学生が参加し、地域の方と一緒に関わりました。

参加した学生からは、「朝早くから丸一日歩いたので疲れたけれど、地域の方と一緒に貴重な経験ができてよかった。」との声が聞かれました。



英語でクッキング! -Pizza 編- (7/20)

7月20日(土)、オーストラリア出身のMision先生を講師に招き、象山寮キッチンスタジオにて、生地からピザ作りをしながら実践的な英語運用能力の向上を図りました。

事前課題として英文レシピを読みこんだ16名の学生は、積極的に授業で習った英単語を活用し、質問や感想を述べ合いました。

参加者全員が1年生であったため、「今後の海外プログラムに向け、もっと英語を勉強したい!」とさらなる英語学習意欲が高まる有意義なイベントとなりました。



グローバルマネジメント学科

グローバルマネジメント学科では、2年次に3つのコース（グローバル・ビジネスコース、企（起）業家コース、公共経営コース）から1つを選択します。1年次に適性を見極めてコース選択を行い、2年次以降でコースごとに異なる選択必修科目を学ぶなど、自身の進む道に応じた学修を行っています。また、2年次からゼミナールの履修が始まっています。ゼミナールは、2年次科目の「ゼミナールⅠ」、3年次科目の「Ⅱ」、4年次科目の「Ⅲ」に分かれており、今年度開講している「ゼミナールⅠ」では、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、様々な課題に取り組んでいます。ゼミナールは選択科目であるが、本学では履修を強く勧めており、今年度は大多数の学生が履修しています。学生は20のゼミナールから関心のあるゼミナールを選択し、教員や他の学生とともに、調査やディスカッション、フィールドワークなどを行っています。



食健康学科

食健康学科では、2年の通年科目として給食今年度、1・2学期に第1期生が本学で初めては、PDCA サイクルに基づく給食経営の業務をや福祉施設、事業所等、給食施設の種類別の給食の目的に応じた運営計画を立案できる力を栄養士の業務は、栄養食事管理、安全・衛生管ます。本実習を通して、これらを総合的にマネます。大量調理の手法や大量調理機器の特徴、に給食を実施できる技術も体得していきます。



し、
の行
もは
携
を行
専門
力

インターンシップ報告

キャリアセンターでは、現在夏休み期間を利用してインターンシップに参加する学生のサポートを行っています。インターンシップとは、企業や団体で5日間程度の就労体験をするプログラムです。今夏、1・2年生の多くが、キャリアセンターを通じてこのプログラムに参加し、将来の進路選択の視野を広げるために、頑張っています。

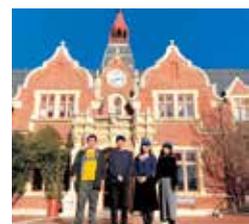
参加した学生からは、「自分にとって貴重な経験になり、卒業後の進路についても考える機会になりました」という声が多数寄せられています。受け入れた企業の担当者からは「毎日笑顔で積極的に質問する姿勢に好感を持ちました」という評価も頂きました。これからもキャリアセンターは、納得する進路選択に向けて、全力で学生を応援していきます。



海外プログラム

2年次の2学期に実施した

- 米国の市議会で受けた
- 街並みも緑も豊かなNZ
- 白夜の美しいウプサラの
- 専門を極めた様々な国
- グループワークとディス



1年生の保護者の皆様へ
来年度の海外プログラム
に開催する予定です。学
説明を行います。

こども学科

経営管理実習が開講されます。実習を行いました。本実習で実践的に学んでいきます。学校で経営管理の特徴を理解し、実践力を培います。給食施設での管理実習、経営管理等、多岐にわたる実習で実践力を養っていきます。安全・衛生的な給食施設における管理栄養士の役割について理解を深めるとともに、調理従事者や他職種との連携を想定し、円滑な給食経営管理を実現するために求められる専門知識としてのコミュニケーション能力を養います。

2018年4月に開学してからこれまで、こども学科では親子で参加可能なイベントをいくつも開催しました。そのうちの 하나가「親子のひろば」です。こども学科の学生が中心のサークル「ぐるんぱ」が主催しています。初回の様子が地元紙の信濃毎日新聞で取り上げられたこともあり、40名を超える未就園児とそのお父さん、お母さんが集まりました。リピーターの親子も多く、回を重ねるごとに学生と子どもたちの距離もグッと近くなりました。お父さん、お母さん同士の繋がりも広がり、また学生にとっても良い体験の空間になっています。現在、ひろば開催の他に月1回チラシを作成しています。他のイベントや絵本の紹介など学生からの情報が満載です。そして、ついに7月31日からは「ぐるんぱの庭」がOPENし、ひろばに隣接されている外庭が開放されました。水遊びはもちろん、砂場やウッドデッキでおもいっきり遊ぶことができます。今後も「親子のひろば」を開催しますので、開催日などは、親子のひろばのウェブページをご覧ください (<https://tinyurl.com/yytnyeto>)。



プログラム報告

海外プログラムに参加した学生の皆さんの感想です。

- 驚きは、僕の今後の原点になると思います。(GM 門脇大真さん)
- 英語と様々な食文化を存分に学びました。(食健康 市川結菜さん)
- 街で英語を駆使し、多様性を学びました。(GM 奥 璃穂さん)
- 国籍の人々が働くADBで、思いを新たに。(GM 家崎亜美さん)
- 実践で経営学を学びました。(GM 岩崎 洗介さん)



海外プログラムに参加する学生の保護者の皆様を対象とした説明会を12月頃開催し、海外プログラムの参加に関する危機管理や費用についての説明を行いました。

○グローバルマネジメント学科

都 市 (大 学)	参加 人数	期間
アメリカ ミズーリ州コロンビア (University of Missouri-Columbia)	25名	6/2~6/30 (終了)
ニュージーランドクライストチャーチ (Lincoln University)	28名	6/1~6/24 (終了)
ニュージーランドクライストチャーチ (Ara Institute of Canterbury)	27名	6/1~6/24 (終了)
スウェーデン ウプサラ (Folkuniversitetet Uppsala)	29名	5/31~6/24 (終了)
フィリピン マニラ (Ateneo de Manila University)	29名	6/8~6/29 (終了)
イギリス レスター (University of Leicester)	27名	7/13~8/4 (終了)

○食健康学科

アメリカ ミズーリ州コロンビア (University of Missouri-Columbia)	15名	6/22~7/7 (終了)
ニュージーランドクライストチャーチ (Ara Institute of Canterbury)	16名	6/1~6/15 (終了)

○こども学科

フィンランド ヘルシンキ・周辺都市 (Omnia)	40名	9/20~10/6 (予定)
------------------------------	-----	-------------------

【特集】ソーシャル・イノベーション創出センター (CSI) 紹介

ソーシャル・イノベーション創出センター (CSI) とは

【 持続可能な社会の実現を目指して 】

2018年4月、長野県立大学の開学と同時に立ち上がった「ソーシャル・イノベーション創出センター (Center for Social Innovation Initiatives, CSI)」は、「社会課題を生まない」「社会課題を解決する」ことに理念を持つ方が一歩を踏み出せるエコシステムを醸成し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【 社会の新しい変化「ソーシャル・イノベーション」を促進 】

大学内外の多様な人や知的資源、地域や企業など、多様な人々が絡み合う「オープン・イノベーション」を基本とし、社会の新しい変化「ソーシャル・イノベーション」を促進しています。

県内外のイノベーターやプロフェッショナルと、学生や教員、企業、行政機関、地域などを相互に結び、社会的課題を解決するための新しい仕組みやサービス、商品などの開発を促進します。

*CSIメンバー：チーフ・キュレーター以下4名

【 大室悦賀 CSI センター長(グローバルマネジメント学部教授)から 】

長野県立大学開学と同時に立ち上がったCSIの大きな役割の一つに、社会との関係性があります。

多様な人々が絡み合う「オープン・イノベーション」を基本とし、地域や企業の人たちを結びつけ、新しい変化を促進します。

また、そのプロセスに学生がすべて参加できることも大きな特長です。大人が何を考え、世界では今何が起きているのか。最先端の動きに学生が直接触れることができる、この新しい学びは日本中どこを探しても見つからないと、自負しています。

※ 以下のサイトもご参照ください。

- Facebook <https://www.facebook.com/CSI.nagano/>
- CSI ジャーナル <http://www.u-nagano.ac.jp/docs/CSI%20JOURNAL.pdf>

学生がCSIとともに取り組んだ一例 ～エシカル消費～

「エシカル消費」とは、人や地域、社会、環境に配慮した消費行動のこと。この普及・啓発には次代を担う若者たちの感性が欠かせない!との思いから始まったのが、「ここからエシカルMAP」(通称「ここカルMAP」)作成のプロジェクトです。

本学の学生10名が自主的に参加し、県内4エリア(長野、松本、上田、飯田)の計40事業者を取材しました。取材先によっては2時間近くも「思い」や「こだわり」を語っていただき、それを学生が約300字にまで凝縮した「ここカルMAP」は、今年1月に副知事臨席のもと松本市で開催された「長野県版エシカル消費キックオフフォーラム」で、学生たちによって発表されました。このフォーラムで基調講演を行った大室悦賀センター長は、「消費は皆さんの投票行動。地球を良くする力がある。」とエシカル消費の意義を説きました。

【参加した学生さんの声】

私が取材の中で気づいたことは、どの事業者さんも心から楽しそうに生き生きと仕事をしていらっしゃるということでした。

「本気で取り組みたい」「自分がやらなければ誰がやる」そんな強い信念をもつ姿勢がとてもまぶしく見えました。

私は自分が進みたい道がわからず不安と焦りにかられることがしばしばあります。今回の取材でほとんどの事業者さんが同じような葛藤と向き合い、自分の道を見つけていったとおっしゃっていました。

葛藤を乗り越えた先に自分の道が見つかる・・・とても貴重な気づきをいただくことができ、これからも自分の視野を広げ続けたいと思っています。



これまでのCSIの主な取組一覧 (学生関係のみ)

■ 長野ミライ会議×県大コラボ公開講座 (学生任意参加)

※ 2018年度第10回は「長野ミライ会議×長野県×県大コラボ公開講座」

(2018年度)	ゲスト(所属) [敬称略]	テーマ
① 6月25日	波多腰遥(ツナグノ)、藤原 正賢(㈱BAZUKURI)	“いま、ぼくらがナガノで出来ること”
② 7月14日	正能 茉優(㈱ハピキラFACTORY代表取締役)	地方にいま必要な「かわいい」とは?
③ 7月25日	森田 舞、大口 知子(ゆめまキッチン)	女性の働き方のミライ
④ 10月3日	飯室 織絵(1166バックパッカーズ店主)	門前ゲストハウスの宿主と考える、「やりたい仕事」のつくり方
⑤ 10月9日	橋本 怜子(鎌倉市課長)、田中 佑典(総務省係長)	働き方改革最前線
⑥ 10月24日	倉石 智則(㈱MY ROOM代表取締役)	まちを魅力的にする不動産屋さんを考える、人が集まる場のつくりかた
⑦ 11月21日	ナカノ ヒトミ(やっこシンカイ店長)	若者が関わりたくなる長野をつくるには?
⑧ 12月19日	村松 浩幸(Fab Lab 長野)	クリエイティブ学習がつくる教室のミライ
⑨ 1月16日	児玉 光史(㈱地元カンパニー代表取締役)	持続可能な地域課題への関わり方
⑩ 1月29日※	柳澤 大輔(面白法人㈱カヤック代表取締役)、徳谷 柿次郎(㈱Huuuu代表取締役)	面白地域論～いま、地域でしかける理由とは?～
(2019年度)		
① 7月3日	園利 一郎(学校法人 角川ドワンゴ学園)	地域×教育(地域を舞台にした教育プロジェクト)
② 8月2日	山田 崇(塩尻市役所職員)	信州とアジアのつなぎ方を考えよう
③ 8月7日	町塚 俊介(コーチ、組織開発コンサルタント、WORKLEファウンダー)	つながりの力で自分の人生を生きるには?

■ 学生京都合宿(2018年度)

9月17～21日 京都でソーシャル・ビジネスを展開する企業12社を学生が訪問(希望する学生4名が参加)

■ 地域連携プロジェクト組成に向けたフィールドワーク&ワークショップ(2018年度)

2月14～15日 中野市をフィールドにCSIアドバイザー・メンバー由井真波氏と中野市が実施(希望する学生5名が参加)

■ 動画撮影セミナー(2019年度)

6月25日、7月9日 動画撮影の専門家による学生向け動画撮影セミナー(「信州イノベーションフォーラム2019」の動画撮影ボランティアに向けて)

■ ソーシャル・イノベーション連続イベント第5弾(2019年度)

7月7日 ソーシャル・シネマ上映会(上映作品「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償」)を学生が企画運営

保護者の皆様からのご質問にお答えします

5月24日付で後援会総会の案内とともに送付させていただきました新入生保護者向け調査にご協力いただきありがとうございました。多くの貴重なご意見を参考に今後の学生の皆さんの学生生活の充実に生かしていきたいと思っております。特に多く寄せられたご意見やご質問について、下記のとおり回答します。

授業等について

Q 体調不良等でテストを受けられなかった場合はどうなりますか？

A 追試験を受けることができます場合があります。追試験とは、病気、災害その他特別の事情により定期試験を受験できなかった場合に行う試験です。特別の事情により追試験を希望する場合は、当該授業科目の試験日の翌日(土日・祝日を除く)から3日以内に学生サポートセンターに必要な証明書を添えた追試験願を提出してもらいますので、学生サポートセンターにご相談してください。

Q 保護者への成績開示はありますか？

A 本学では、学生の皆様への修学支援をきめ細かく実施するために、毎年2学期及び4学期の成績発表後に成績状況を保護者の皆様にも通知しております。

Q 海外プログラムについて費用や必要なものを教えてください

A 学科及び研修先によって異なりますが、2019年度を例としますと、研修費用は30万~72万となっております。

上記には航空運賃及び付加料金、日本国内交通費、宿泊費、現地研修費用が含まれ、研修先によって現地の交通費及び食費の一部が含まれています。

このほか、海外旅行保険加入料、危機管理対策費などが必要となります。必要なものとしては、研修参加に必要な残存期間を有するパスポートのほか、クレジットカードやプリペイドカード、常備薬・処方薬、並びに通信手段としてスマートフォンとWifiルーターを携帯することを強く勧めています。

詳しくは、12月頃に開催を予定している海外プログラム保護者説明会にてご説明させていただきます。

Q 就職活動を心配しているのですが、就職活動のサポートはありますか？

A 本学ではキャリアセンターが中心となって、就職のサポートを行います。自分で納得いく進路を選択し、その目標に向かって就職活動を頑張るためには、その前の段階の準備期間が大変重要になります。自分の強みや価値観を知り、それを最大限活かせる環境を自ら選べるような、働きかけを行う、キャリア形成支援プログラムを1年次から体系的に行っています。

少人数ということもあり、専任のキャリアコンサルタントが一人一人と向き合うキャリア相談も充実しています。今年からは、長野県立大学キャリア支援サイトをオープン、また、Uターン・Iターン就職希望者の支援のための就職支援パートナーシップ制度へも加盟、万全の支援体制が整いつつあります。今後、学年があがっていくのに応じてそれぞれの進路支援セミナーの開催を予定しています。

寮生活等について

Q 寮で体調を崩した際やトラブルがあった際の対応はどうなっていますか？

A 寮には管理人さんが24時間常駐していますので、急な体調変化やトラブルにも対応してくれます。重篤な場合は病院への付き添いもお願いしています。

Q 退寮時のスケジュールや費用を教えてください

A 寮生には事前に退寮希望日時を提出していただき、2月4日の期末試験が終われば退寮を開始できます。次年度の準備として業者による清掃を含めて2週間程必要としますので、3月半ばまでには退寮していただく予定です。

居室のベッドマットや家具類の汚損、ユニット内の備品の故意の破損等があれば、クリーニング・修繕の実費をいただくこともあります。

Q 2年次も寮に残りたいが、RAについて知りたい(スケジュールや選考基準等)

A RAの昨年の選考スケジュールは、8月下旬に希望者を募集し(募集締切10月上旬)、10月中に書類審査や面談を行い、11月中に決定しました。選考基準としては、1年次の学業成績や寮での生活態度等を総合的に判断して決定しています。

Q 2年次の住まいの不安があるのですが、サポートやスケジュールを教えてください

A 市内の不動産業者によるアパート相談会を7月10日に三輪キャンパスで実施しました。一人暮らしを希望する学生の皆さんは、不動産業者に連絡先等を登録されたことと思います。今後は個別に不動産業者から情報提供を受ける形になります。

その他 心配な点について

保護者の皆様からいただいた心配な点は、

学習についていけるか、学業とサークル・バイト等の両立ができていけるのか、人間関係をうまくやっているか、食生活が乱れていないか、体調管理ができていけるか等が挙げられていました。

学生の様々な悩みや相談に対しては、学生サポートセンターで相談対応等を行っています。

保護者の皆様からも、ご心配な点やご不明点等がありましたら、学生サポートセンター(026-217-5082)にお気軽にお問い合わせいただければと思います。

令和元年度長野県立大学後援会総会

令和元年度の長野県立大学後援会総会は、6月22日(土)午後1時から三輪キャンパス講義室 F21 にて開催しました。大学から学長にご出席いただき、遠方からの参加者を含め50名を超す会員の皆様にお集まりいただき、熱心で活発な議論が交わされました。

第1号議案 平成30年度長野県立大学後援会事業報告(案)

第2号議案 平成30年度長野県立大学後援会収支決算書(案)及び監査報告

第3号議案 令和元年度長野県立大学後援会事業計画(案)

第4号議案 令和元年度長野県立大学後援会収支予算書(案)

第5号議案 令和元年度役員を選出

以上の議案が審議され、すべて承認されました。平成30年度事業報告、平成30年度収支決算報告及び監査報告、令和元年事業計画、令和元年度収支予算書は次ページのとおりです。

審議終了後、一年次全寮制の取組状況について、海外プログラムについて、キャリア・就職支援についてそれぞれの担当者より報告がありました。

その後、健康発達学部に加藤孝士准教授から「この一年を振り返って～長野県立大学学生調査の結果から～」と題した特別講演を行いました。要旨については以下のとおりです。

この1年を振り返って～長野県立大学大学生調査の結果から～ 加藤孝士(健康発達学部 食健康学科)

【目的】

本事業は、長野県立大学の教育力を客観的に評価するため、本学大学生を対象に入学から4年間を継続的に調査しています。初年度の目的は、長野県立大学学生の生活環境や思考を把握すること、また、他大学の学生との比較を通して、本学学生の特徴の一端を示すことです。

【方法】

〈調査協力者〉本学の平成30年度入学学生(257名)。web調査によって調査協力を得られた全国の大学生2060名(新生、1年終了、2年終了、3年終了、4年終了の各412名)。

〈手続き〉本学学生を対象とした調査は、大学の授業終了後に行いました。Web調査は、web調査会社を通じて調査内容を配信し、行いました。

【結果】(紙面の都合上、結果のみ記載する)

6月の調査で、寮生活の満足度を尋ねたところ、全般的な満足度として、80%以上が満足と回答しました(図1)。その中でも友人関係については、95%以上が満足と回答しており、寮生活への満足度が高いことが伺えました。

朝食摂取に関しても頻度を調査したところ、「ほぼ毎日食べる」と回答した学生は、98%(4月)、85%(6月)、83%(11-12月)と高水準を維持しており、生活リズムが保てている学生が多いことが示されました。

最後に、「この1年間で成長したと感じるところはどんなことですか?」といった質問に対して、自由に回答してもらったデータをKH Coderを用い、計量テキスト分析を行いました(図2)。今回は、本学とweb調査の学生の回答傾向の違いを確認するため、それぞれの特徴的な単語が両サイドに付置されるような分析(外部変数を指定した共起ネットワーク)を行いました。その結果、本学の学生は、『英語』や『家事』、『人間関係』に関する単語を挙げており、これらが成長したと回答する傾向が高いことが示されました。よって、本学の学びの特徴が十分に反映されていると考えられます。

これらの調査に関しては、今後も調査を重ね、学生の成長の軌跡を残していきたいと考えています。

本調査は、理事長裁量経費事業(ライフスキルの成長を促す大学の教育力評価事業:代表、加藤孝士)の助成を受けて行っています。

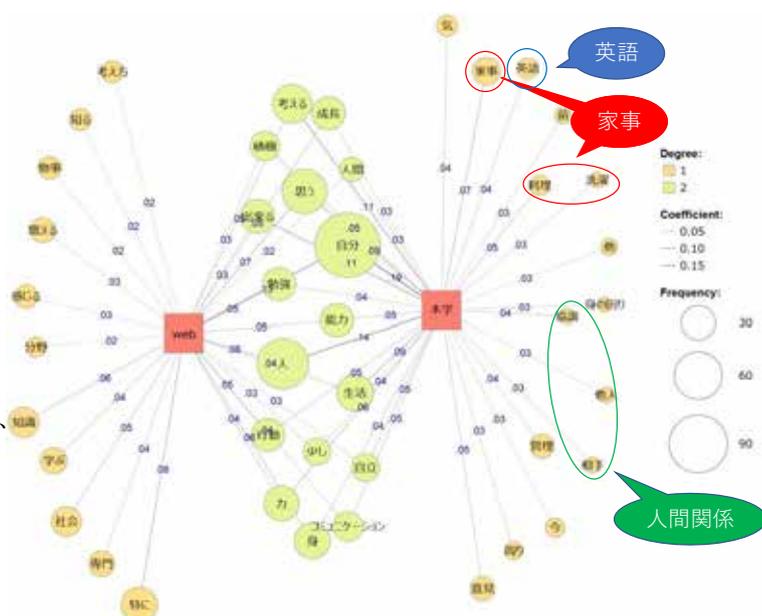
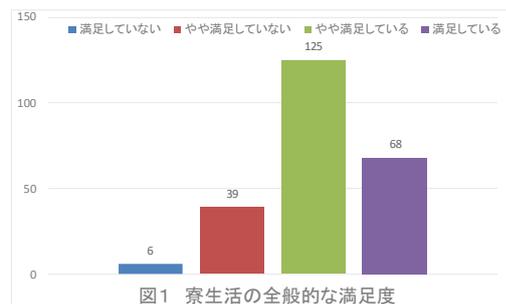


図2 本学とweb調査の大学1年生が「1年間で成長したと認識していること」の共起ネットワーク

平成30年度長野県立大学後援会収支決算書

収入決算額 7,560,024円
 支出決算額 2,392,408円
 差引残額 5,167,616円 (次年度へ繰越)

◎収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備考
会費	9,880,000	7,560,000	△2,320,000	40,000×189人分
諸収入	0	24	24	預金利息
計	9,880,000	7,560,024	△2,319,976	

平成30年度事業報告

- ・会議費
7月28日(土) 後援会設立総会・役員会
- ・事務費
8,12,3月 後援会費振込依頼書作成・郵送料
- ・サークル活動助成費
12団体へ活動費助成
- ・学園祭助成費
10月20日(土)・21日(日) 学園祭実行委員会へ助成
- ・寮生交流活動助成費
11月3日(土) 松代発見ツアー
1月18日(金) スポーツ大会
2月23日(土) レザーライフル射撃体験会
- ・SEQ受講費
5月・2月 年2回受講
- ・福利厚生備品助成費
4月～3月 信濃毎日新聞・長野市民新聞購読料
8月～3月 寮生活備品購入

◎支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(A-B)	備考
総務費	400,000	58,727	341,273	
会議費	20,000	21,573	△1,573	設立総会・理事会(7/28)
事務費	180,000	37,154	142,846	会費振込依頼書作成・郵送料
広報費	200,000	0	200,000	
事業費	6,400,000	2,333,681	4,066,319	
学生自主活動促進費	3,300,000	1,024,233	2,275,767	
サークル活動助成費	1,000,000	405,041	594,959	12団体へ助成
学生会活動助成費	200,000	0	200,000	
ボランティア活動助成費	100,000	0	100,000	
学園祭時助成費	1,000,000	619,192	380,808	学園祭実行委員会へ助成(10/20・21)
その他自主活動助成費	1,000,000	0	1,000,000	
学生寮活動促進費	2,300,000	1,272,369	1,027,631	
寮生交流活動援助費	300,000	376,045	△76,045	松代発見ツアー・スポーツ大会他
寮祭助成費	500,000	0	500,000	
卒業記念パーティー助成費	500,000	0	500,000	
SEQ受講費	1,000,000	896,324	103,676	年2回受講(入寮・退寮時)
キャリアアップ助成費	300,000	0	300,000	
福利厚生備品助成費	500,000	37,079	462,921	新聞2紙購読料・寮生活備品購入
予備費	3,080,000	0	3,080,000	
総計	9,880,000	2,392,408	7,487,592	

会計監査報告

会計について監査した結果、証拠書類および帳簿等は、適正に処理されていることを確認したので報告します。

監事 浦野 加代 ㊤ 監事 吉澤 敏雄 ㊤

令和元年度長野県立大学後援会収支予算書

収入総額 14,928,000円
 支出総額 14,928,000円

◎収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A-B)	備考
会費	9,760,000	9,880,000	△120,000	40,000×244人分
繰越金	5,167,616	0	5,167,616	
諸収入	384	0	384	預金利息
計	14,928,000	9,880,000	5,048,000	

令和元年度事業計画

- ・会議費
6月22日(土) 後援会総会・役員会
- ・事務費
5、11、3月 後援会費振込依頼書作成・郵送料
- ・広報費
5、8、12月 後援会会報年3回発行
- ・サークル活動助成費
各団体へ活動費助成
- ・ボランティア活動助成費
活動場所までの交通費を助成
- ・学園祭助成費
10月26日(土)・27日(日) 学園祭実行委員会へ助成
- ・寮生交流活動助成費
4月5日(金) 新入生歓迎会
6月9日(日) 第1回球技大会
7月30日(火) 第2回球技大会
9月20日(土) 松代発見ツアー
- ・SEQ受講費
4月・1月 年2回受講
- ・キャリアアップ助成費
4月～3月 キャリア形成支援
- ・福利厚生備品助成費
4月～3月 信濃毎日新聞・長野市民新聞購読料
4月～3月 寮生活備品購入

◎支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額(B)	差引増減(A-B)	備考
総務費	700,000	400,000	300,000	
会議費	50,000	20,000	30,000	総会・理事会(6/22)
事務費	250,000	180,000	70,000	会費振込依頼書作成・郵送料
広報費	400,000	200,000	200,000	会報発行(年3回)
事業費	10,200,000	6,400,000	3,800,000	
学生自主活動促進費	5,700,000	3,300,000	2,400,000	
サークル活動助成費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	各団体へ活動費助成
学生会活動助成費	200,000	200,000	0	
ボランティア活動助成費	500,000	100,000	400,000	活動場所までの交通費を助成
学園祭助成費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	学園祭実行委員会へ助成(10/26・27)
その他自主活動助成費	1,000,000	1,000,000	0	
学生寮活動促進費	2,500,000	1,800,000	700,000	
寮生交流活動援助費	1,000,000	300,000	700,000	新入生歓迎会・球技大会(年2回)他
寮祭助成費	500,000	500,000	0	
SEQ受講費	1,000,000	1,000,000	0	年2回受講(入寮・退寮時)
キャリアアップ助成費	1,000,000	300,000	700,000	キャリア形成支援
福利厚生備品助成費	1,000,000	500,000	500,000	新聞2紙購読料・寮生活備品購入
予備費	4,028,000	3,080,000	948,000	
総計	14,928,000	9,880,000	5,048,000	

寄付金のお願い

長野県立大学では、充実した教育研究、きめ細やかな学生支援を行うために、個人、団体を問わずご寄付を募集しております。

本年度は、これまでに頂戴した寄付金から44万5千円が、海外プログラムにおける13件の奨学金として活用されました。

後援会の皆様には、このような本学の趣旨を広くご紹介いただくとともに、ご寄付にご協力いただけると幸いです。

本学ではこれからも、後援会の皆様とともに各種奨学プログラムを充実させ、魅力ある教育研究環境を学生に提供してまいります。ぜひ次世代を担う学生に温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(お問合せ先) 長野県立大学事務局 総務・財務係 佐野 (担当)

Tel : 026-217-2240 Mail : sokei@u-nagano.ac.jp

Information

学生サポートセンター

○授業料等口座振替日

令和元年10月28日(月)【第2回納付分】

○新たな修学支援制度について

2020年4月から始まる修学支援新制度(授業料減免、給付型奨学金)については、今年の秋以降に在学学生を対象とした手続き等が行われる予定です。必要な手続き等については、別途、学生の皆さんを通じてお知らせする予定です。

○学園祭 令和元年10月26日(土)、27日(日)

皆様のご来場をお待ちしています。

健康管理室

4月の定期健康診断の結果を学生に返しました。健診の結果、精密検査が必要と判定された学生にはその旨通知しています。精密検査や健診未受診の方は夏休みを利用するなどして受診してください。また受診結果は健康管理室へご提出ください。

図書館

○開館時間

	開館時間
平日(通常開館)	8時30分～20時
平日(短縮会館)	8時30分～17時
土曜日	8時30分～17時
日曜・祝日・ 年末年始	休館

館内資料を使用しての研究及び学習の目的に限り、学外者への図書館開放を行っています。

○資料

- ・図書 104,200冊
- ・新聞 10誌
- ・逐次刊行物 約450誌
- ・製本雑誌 約8,200冊
- ・録音資料 約460点
- ・和製本 1,020冊
- ・映像資料 DVD約330点
VHS約700点

公立大学法人長野県立大学 後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪8丁目49番7号

電話 026-217-2241 (代表) FAX 026-235-0026

E-mail daigaku@u-nagano.ac.jp <http://www.u-nagano.ac.jp>



THE UNIVERSITY OF
NAGANO